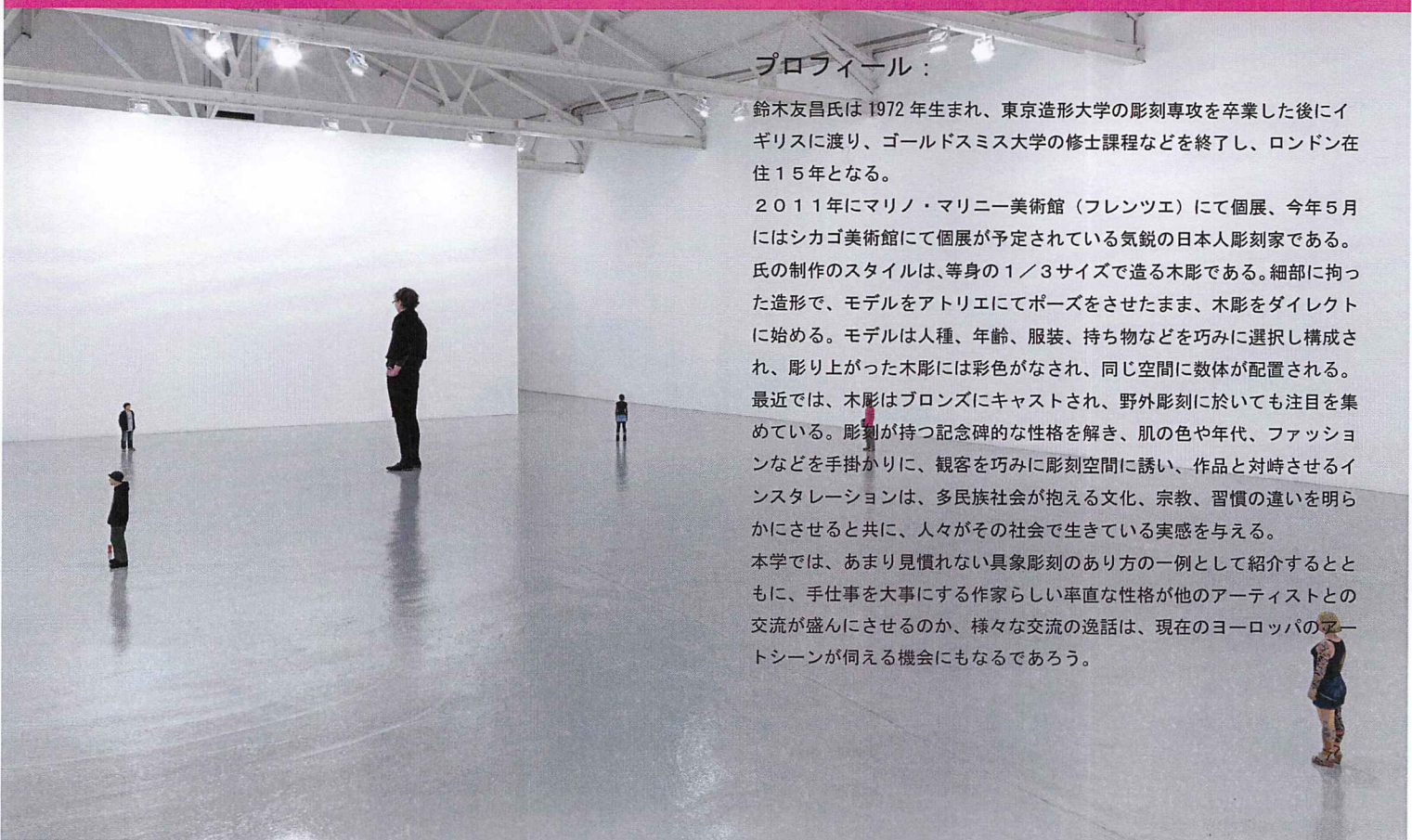


2013年度 第1回 特別授業プロジェクト

彫刻家 鈴木友昌氏

日時：6月7日（金曜日）15：00～

会場：大学会館交流室



プロフィール：

鈴木友昌氏は1972年生まれ、東京造形大学の彫刻専攻を卒業した後にイギリスに渡り、ゴールドスミス大学の修士課程などを終了し、ロンドン在住15年となる。

2011年にマリノ・マリニー美術館（フレンツエ）にて個展、今年5月にはシカゴ美術館にて個展が予定されている気鋭の日本人彫刻家である。氏の制作のスタイルは、等身の1/3サイズで造る木彫である。細部に拘った造形で、モデルをアトリエにてポーズをさせたまま、木彫をダイレクトに始める。モデルは人種、年齢、服装、持ち物などを巧みに選択し構成され、彫り上がった木彫には彩色がなされ、同じ空間に数体が配置される。最近では、木彫はブロンズにキャストされ、野外彫刻に於いても注目を集めている。彫刻が持つ記念碑的な性格を解き、肌の色や年代、ファッションなどを手掛かりに、観客を巧みに彫刻空間に誘い、作品と対峙させるインスタレーションは、多民族社会が抱える文化、宗教、習慣の違いを明らかにさせると共に、人々がその社会で生きている実感を与える。

本学では、あまり見慣れない具象彫刻のあり方の一例として紹介するとともに、手仕事を大事にする作家らしい率直な性格が他のアーティストとの交流が盛んにさせるのか、様々な交流の逸話は、現在のヨーロッパのアートシーンが伺える機会にもなるであろう。